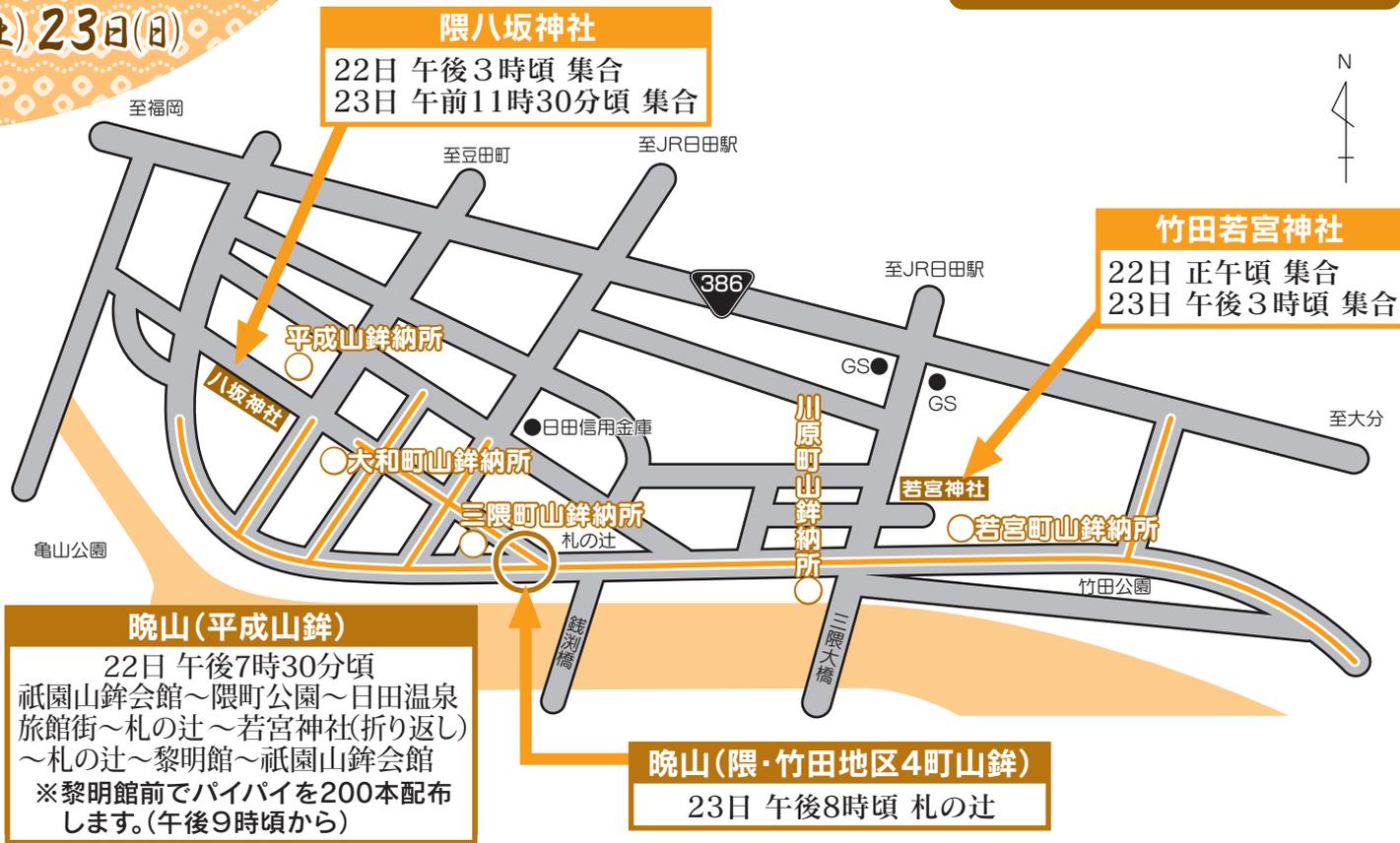


鉾巡行予定図

2日(土) 23日(日)

隈・竹田地区



【隈の起り】

文禄3年(1594年)に、豊後日田・玖珠2万石の蔵入地代官を務めた豊臣秀吉配下の、宮木豊盛(長次郎)が日隈山(現在の亀山公園)に城を築き、その対岸に開いた城下町が起源です。

慶長元年(1596年)には、後に豊後佐伯藩の初代藩主となる毛利高政によって、現在の町割りの原型が作られたと言われています。当時は、現在の中本町、隈1・2丁目を二重の堀と土塁で囲み、要所に木戸門を設けて朝夕に開閉していたと言われています。



三隈町

三隈町の山鉾は、平成19年に新調されたもので、全体のバランスを重要視した、美しいシルエットが特徴です。

見送り『龍』
昭和60年(1985年)制作



大和町

大和町の山鉾は、100年もの間活躍した山鉾が平成22年に勇退し、平成23年新調されました。高さ10mの優美で勇壮な山鉾を是非ご覧ください。

見送り『麒麟』
明治2年(1869年)制作



川原町

川原町の山鉾は、平成24年に水引幕を120年ぶりに新調しました。睨みあった龍と虎が勇壮で躍動感ある姿に刺繍されており、また、平成28年に屋形を追加新調しまして、豪華絢爛に仕上がっています。

見送り『素盞鳴尊大蛇退治』
平成8年(1996年)制作



若宮町

若宮町の山鉾は、昭和12年に一端途絶えましたが、昭和54年に復活し、平成25年に新調されました。見送りの獅子に負けない迫力の巡行をご覧ください。

見送り『唐獅子』
昭和58年(1984年)制作

